

# 昭和の戦争略年表

年号	日付け	出来事
昭和6(1931)	9・18	関東軍、柳条湖付近の満鉄線を自ら爆破し、中国軍に攻撃開始。 <b>満州事変始まる。</b>
7(1932)	1・28	上海で海軍陸戦隊、中国軍と交戦。 <b>上海事変。</b> 満州国、建国を宣言。
8(1933)	3・1	海軍青年将校ら、犬養毅首相射殺。 <b>5・15事件。</b> 国際連盟脱退。
11(1936)	2・26	皇道派青年将校、部隊を率い、高橋是清らを殺害。 <b>2・26事件。</b>
12(1937)	6・4	ベルリンで日独防共協定調印。 第一次近衛内閣成立。 盧溝橋で日中両軍衝突。 <b>日中戦争(支那事変)始まる。</b> 上海で日中両軍衝突。
9	9・23	中国国民党、共産党の国共合作成立。
11	11・6	イタリア、日独防共協定に参加。
12	12・13	南京占領。戦線さらに拡大。
13(1938)	10・27	武漢三鎮占領。

14(1939)	5・11	ノモンハンで国境紛争、日ソ両軍交戦に発展。 <b>ノモンハン事件。</b>
15(1940)	9・1	ドイツ軍、ポーランド侵攻。 <b>第2次世界大戦始まる。</b>
16(1941)	4・13	日本軍、北部仏印(北ベトナム)進駐開始。 ベルリンで、日独伊三国同盟に調印。 日ソ中立条約調印。
7	7・28	ハル米国務長官と野村大使の間で日米交渉正式に開始。
8	8・1	日本軍、南部仏印への進駐開始。
10	10・18	米政府、石油の対日輸出を全面禁止。 東条内閣成立。
11	11・5	御前会議で「帝国国策遂行要領」を決定。対米交渉不成立の場合、12月初頭に武力発動の方針。
11	11・26	米国務長官、日本側に、中国からの撤兵を要求。 日本海軍機動部隊、ハワイ海域に向け千島列島択捉(エトロフ)島のヒトカップ湾を出港。
12	12・1	御前会議で、米・英・蘭(オランダ)に対する開戦決定。
12	12・8	日本軍、ハワイ真珠湾を空襲。マレー半島上陸。



7・18	7・7	7・4	6・19	4・17	3・8	11・25	9・8	5・29	2・1	10・26	8・8	6・5	5・7	5・6	3・9	3・8	2・15	1・2	12・10				
東条内閣総辞職(後継は小磯内閣)。	サイパン島守備隊玉砕。	インパール作戦中止決定。	マリアナ沖海戦。	大陸打通作戦開始。	インパール作戦開始。	マキン・タラワ両島守備隊玉砕。	イタリア、無条件降伏。	アリューシャン列島アッツ島守備隊玉砕。	イタリア、無条件降伏。	ガダルカナル島撤退開始。米軍反攻本格化。	ガダルカナル島攻防をめぐり南太平洋海戦。	第1次ソロモン海海戦。	太平洋戦争の転機となる。	珊瑚海海戦。史上初の空母同士の海戦。	ミッドウェー海戦。日本海軍機動部隊4空母沈む。	戦終了。	米軍コレヒドール島守備隊降服し、フィリピン作戦終了。	ジャワ島の連合軍降服。	ビルマ・ラングーン占領。ニューギニア東部北岸占領。	シンガポール占領。	フィリピン・マニラ占領。	マレー沖海戦。英戦艦2隻撃沈。	太平洋戦争始まる。

8・15	8・14	8・9	8・8	8・6	7・26	6・23	6・18	5・7	4・1	3・26	3・10	1・9	11・24	10・20	8・13	
天皇、戦争終結の玉音放送。太平洋戦争終わる。	御前会議、ポツダム宣言受諾を決定。	長崎に原子爆弾投下。	多数の日本軍兵士をシベリア、中央アジアに抑留。	ソ連、対日宣戦布告し、南樺太、満州、朝鮮に進撃。	広島に原子爆弾投下。	米英中三国ポツダム宣言、日本の即時無条件降伏要求。	沖繩守備隊全滅し、組織的抵抗終わる。	沖繩南部戦線で、ひめゆり部隊集団戦死。	ドイツ無条件降伏。	米軍、沖繩本島に上陸。国内唯一の地上戦。	硫黄島守備隊玉砕。	東京大空襲。その後、全国各地の都市を無差別爆撃。	米軍、ルソン島に上陸。	マリアナ基地の米軍B29爆撃機、東京初爆撃。	神風特攻隊編成。	グアム島守備隊玉砕。

